

（件名）上海で愛される札幌ラーメン店について

- ・札幌に本店を構えるラーメン店「麺や 白」が、上海進出 5 周年を迎えました。北海道から麺やタレを輸入し、道産素材をふんだんに使用したラーメンを味わうことができるこの店は、2021 年 8 月に上海市内の大型商業施設内にオープンし、コロナ禍中のロックダウンや店舗内飲食の禁止などの大変な時期を乗り越え、今もなお札幌ラーメンの味を上海に広めています。
- ・九州とんこつ系ラーメンや横浜家系ラーメンが台頭する上海で、北海道の老舗・西山製麺が製造したコシのあるちぢれ麺を使用するなど北海道らしさにこだわっており、その味を求めて多くの地元リピーターが訪れます。中には上海の店舗で食べたラーメンに深く感銘を受けたファンが、札幌の本店まで食べに行くケースもあるそうです。
- ・スープは北海道から輸入したタレに、中国で調達した動物系素材などをミックスしたオリジナルブレンド。札幌の本店の味を踏襲しながらも、中国では薄味のスープが好まれるため、上海の店舗ではスープの濃度を少し薄めに調整することが大事なポイントです。
- ・札幌出身の岩渕店長は上海の店舗の立ち上げ当初から運営に携わり、現在に至るまで調理から店舗管理まで幅広い業務をこなしています。多忙ながらもラーメン職人として上海で過ごす毎日に充実感を感じており、「道産食材を使ったラーメンの強みを生かして、今後もこだわりの味を上海に伝えていきたい」と意気込みを語りました。
- ・道産食材を最大限に取り入れてきた独自性と、地元の声を分析しラーメンをアレンジしてきた柔軟な姿勢が、競争が激しい上海の外食業界で愛され続けてきた秘訣なのかもしれません。



「北海道拉麺」の看板が目を引きま



ラーメン業界で 20 年以上のキャリアを持つ岩渕店長



西山製麺のちぢれ麺を使用

（件名）アジア最大規模のペット産業展示会について

- ・8 月 19 日～23 日、上海市内の国際展示場でアジア最大級のペット産業展示会「Pet Fair Asia 2026」が開催されました。フード、医薬品、ウェア、遊具などを取り扱う 2,600 社以上の企業が出展し、来場者は 50 万人を超える世界有数の規模の展示会です。商品購入やサンプル入手目的の一般来場者や、パートナーを探すビジネス来場者などで会場は大変込み合いました。
- ・日系企業も参加しており、ジェトロが設置したジャパンパビリオン内での合同出展（31 社）や、大手ペットフードメーカーによる単独出展が見られました。北海道からもペットフード製造・販売等に取り組む企業がジャパンパビリオン内に出席し、動物病院が開発した健康志向フードの PR を行い、絶えず人だかりができていました。
- ・ペットのヘルスケアに対する関心は年々高まっており、出展した日系企業からは「種類、年齢、健康状態などにあわせて商品の細分化を進めている。今回高齢ペットの健康維持に適した数種の商品を中国でリリースし、PR に注力している」との声が聞かれました。
- ・世界中から競合先が集い類似品も次々と現れる環境ですが、健康や安心・安全に対するニーズの高まりをとらえながら、日系企業の中国ペット産業市場開拓、販路拡大の取組が進められています。



賑わいを見せるジャパンパビリオン